

漆とは漆の木の樹液で、昔から塗料や接着剤として使用されてきました。

また、漆の塗られた器を漆器と呼びます。以前は国内に漆の産地がたくさんありましたが、産業の移り変わりにより、少なくなってしまいました。京都・福知山にある夜久野町では、京都・日本の伝統文化である漆掻きを続けており、漆木の不足や後継者育成などの課題を抱えながら、漆掻きを次世代につなぐ活動を行っています。

手にとっていただいた皆さん、この問題たちから、丹波漆について考えてみてください！



考えたこと、
聞かせて！

ご回答はこちらから

Q 1

あなたは最近ウルシの樹うるしや漆製品を見たり使ったりしましたか？最近の生活を振り返ってみてください。



Q 3

ウルシの仲間にはどんな植物がいて、どんな共通点があるでしょうか？調べてみましょう。

Q 2

漆という塗料は樹の樹液です。ウルシの樹に傷を入れて一滴一滴集めます（「漆掻き」と言います）。あなたなら漆を何に塗ってみたいですか？



かつて漆掻きは全国的に盛んでしたが、現在まで漆掻きが残っている場所は限られています。夜久野のウルシ（丹波漆）はどのような歴史をたどっていて、なぜ現在まで続いているのでしょうか？調べてみましょう。

Q 4

Q 5

漆掻きさんが樹を育てるために、あなたはどんなお手伝いをしてみたいですか？



若者が魅力を感じるような、新しい漆製品を提案してください。

Q 6



Q 7

丹波漆と福知山を知ってもらうために、丹波漆と他の福知山の名物（食べ物、お城、祭りなど）をどうコラボさせると面白そうですか？

Q 8

漆掻きをした後の木は切り倒してしまいます。掻いた後の木をどのように活用できそうですか？

Q 9

丹波漆をPRするために、丹波漆キャラクターを考案してください。



Q 10 あなたを丹波漆大使に任命します。丹波漆を全国・世界の人に知ってもらうためのPR方法を考案してください。



京都府内には、ウルシの樹から漆工製品づくりや文化財までの道のりがすべて揃っています。丹波漆に立ち寄ることを前提に、1泊2日京都旅行プランを提案してください。

Q 11

ウルシはどのような場所に植えると良いのでしょうか？調べてみましょう。

ウルシの生態・管理・経営・地域の状況など、様々な観点から考えてください。

Q 12

Q 13 良質な丹波漆を採るためのウルシの樹が不足しています。丹波漆を未来につないでいくために、どのような課題を克服する必要があるのでしょうか？生産、消費、経営、技術伝承など様々な観点から考えてください。



Q 14 なぜウルシを守るのでしょうか？丹波の漆掻きを保存・継承する事の意義とは何でしょうか？

Q 15 持続可能な社会の実現に向けて、漆製品にはどのような利点があるのでしょうか？

Q 16 夜久野にとってウルシとはどのような存在なのでしょうか？ウルシは夜久野に何をもたらすのでしょうか？

